

令和5年度学校関係者評価報告書

東日本製菓技術専門学校は、本校の目的及び社会的使命を達成するため、教育活動の状況について、自ら行う点検及び評価を実地し、さらに学校関係者評価委員会での評価を実施し、この報告書にまとめました。

基準	1	教育理念・目標
基準	2	学校運営
基準	3	教育活動
基準	4	学修成果・教育成果
基準	5	学生支援
基準	6	教育環境
基準	7	学生の受け入れ募集
基準	8	教育の内部質保証システム
基準	9	財務
基準	10	社会貢献・地域貢献

令和6年7月19日

学校法人 山崎学園
東日本製菓技術専門学校

1 総評 評価 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

基準1 教育理念・目標

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：4

・適切である

東日本製菓技術専門学校（以下、「当該専門学校」という。）は、高崎市矢中町に平成5年4月に学校法人山崎学園が設置した北関東で初めての製菓における専門技術者の養成を目的にした厚生労働省認可の私立専門学校である。

開校時は製菓衛生師学科、修業年数1年・定員100名でスタート。平成8年1月8日より前橋市小屋原町に移り3学期が始まる。

平成8年4月1日より、修業年数2年の製菓製パン本科を開設。製菓衛生師学科40名、製菓製パン本科120名の定員にする。平成10年4月1日には、最新の設備を備えた製パン実習室が完成した。令和6年（2023）5月1日現在、学生数は155名である。

当該専門学校は、製菓・製パンの技術習得の職業教育を通して、社会に貢献できる、心身共に明朗・健全な人材を育成することをミッションにしている。

基本的な考え方としては、①技術の習得②資格の取得③就職の達成を目指す。

教育理念、育成人材像を達成するため入学から、在学中、卒業まで一貫とした教育プログラムに基づく教育活動を展開している。

特に、就職支援、国家資格試験対策に優れた取り組みを行っており、専門就職率の高さ、国家資格試験の高水準を維持している。また、技術習得については、製菓衛生師養成施設技術コンクール全国大会に出場し、令和4年度、5年度と2年連続和菓子部門で文部科学大臣賞を受賞、ジャパンケーキショー東京（エコール部門）でも銀賞を受賞し、その指導力は評価できる。

平成27年6月、カフェ実習室が完成した。

基準2 学校運営

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：4

・適切である

学校運営は、学校の目的、目標を達成するため事業計画を毎年作成している。運営組織や会計処理等は規則・規定が整備され運用されているが、昇進・昇格制度、賃金制度は完全に整備されていないので、制度の整備が必要であるが技術系のむずかしさがある。

基準3 教育活動

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：4

- ・適切である

各学科において、それぞれ、養成目的、資格取得、就職分野を明確にしている。育成人材像、教育目標、教育活動は、関連する業界のニーズに的確に対応するよう情報収集や連携に努めている。

学科の教育課程（カリキュラム）は、厚労省の規定だが実習においては学校独自のものを活用している。科目ごとにシラバスを作成し、理解度や到達度の確認は、試験などを実施し、検証をしている。

国家資格（製菓衛生師）取得については、模擬試験を実施し、実施結果に応じたきめ細かな指導を行っている。結果として本年は合格率93.2%であった。

基準4 学修成果・教育成果

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：3.8

- ・学生の能力の違いにより細かい指導を期待する

当該専門学校は、就職支援、国家試験対策に優れた取り組みを行っている。

製菓製パン職種への全員就職を目指し、それぞれの実習担当者が就職指導を行っている。卒業生の就職先訪問を実施、一部卒業生には校友会を通じ新聞、ホームページで紹介をしている。就職後の定着率、離職率を把握するための調査ができればよいと思う。

国家資格（製菓衛生師）取得については93.2%、就職率においても100%であったが引き続き100%を目標に教職員全員による指導を行っていく。

基準5 学生支援

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：3.5

- ・校友会としても支援していきたい

就職支援のための「就職ガイダンス」を学校で開催し、毎年70社以上の人事担当者から面談を行う機会を提供している。

サークル活動においては、調理、製菓のほか体育系も活動しており、顧問として教職員が携わっている。保護者会も組織し、授業参観では就職や国家資格について個別の相談にも応

じている。引き続き学生支援の継続をしていく必要がある。

基準 6 教育環境

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：4

・適切である

施設・設備は厚生労働省指定養成施設としての要件を満たしている。

また、専門技術を磨くために和菓子、洋菓子、パン、カフェの専用の実習室を完備、合計5実習室にそれぞれ専任教員を配置と、企業派遣による講師の実習を実施している。

希望者（2年生）はフランス・アルカッションに短期留学が可能、ヨーロッパ研修旅行も実施。年2回の学校安全総合点検や避難訓練を実施し環境・安全面に配慮している。引き続き学校の環境・安全に努める。

基準 7 学生の受け入れ募集

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：4

・少子化に対処した受け入れ体制をしている。

一般社団法人群馬県専修学校・各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期を遵守している。入学選考については、「入学選考等に関する規定」に基づき、適正に実施している。入学辞退者に対する授業料の返還は、募集要項に定め、適正に処理している。

基準 8 教育の内部質保証システム

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：4

・良好である。

法令や設置基準の遵守については、専修学校設置基準や製菓衛生師法を遵守する。

個人情報に関しても、「個人情報保護規定」を整備し運用している。

自己点検・自己評価への取り組みは「自己点検・自己評価に関する規定」を整備し、平成21年度から自己点検・自己評価を実施している。

基準9 財務

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：4

・良好である。

群馬県は高校卒業時の大学進学率は50%を超えており、大学進学率が高くなっている。一方専門学校は10年前から比べると進学者が減少している。本学の在学生数は昨年とほぼ同数だが、設備等の整備があり予算の執行については引き続き経費節減に取り組んできた。単年度予算の編成は、収支計画に基づき、適切な手続きを経たうえで確定し執行した。

監査は、法人寄付行為に基づき監事が監査を行い、その結果を理事会、評議員会に報告するとともに、別に公認会計士に監査も受けている。

財務情報の公開は、私立学校法の規定に基づき、「財務情報公開規定」を整備し、公開請求に対応している。

基準10 社会貢献・地域貢献

【学校関係者評価委員からの意見】 評価：3.8

・適切である

食文化の発信と、学生たちの学習の発表を目的に毎年開催されている学園祭には地域の方が多数見学、各種講習会に参加している。

また、秋の交通安全週間には街頭指導に参加している。

自己点検・評価表

実施日：令和 6年 5月 1日

学校名：東日本製菓技術専門学校

1. 学校の教育目標

- ◎製菓衛生師としての知識・技術を修得し資格取得をめざす。
- ◎食文化を担うという自覚と誇りをもたせ、これらの時代にふさわしい「製菓衛生師マインド」を育成する。
- ◎各国の食物などの基礎知識と基礎技術をしっかり身につけさせて、業界で十分適応できるような製菓・製パン技術者を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ◎基礎・基本をたいせつにして、常にわかりやすい授業を行う。
- ◎絶えず、学習意欲の喚起に努め、興味・関心を高めさせる。
- ◎修得段階に応じてきめ細かな学習指導・生活指導を行う。
- ◎諸資格の取得に向けて万全の指導を行う。
- ◎諸行事を通じて協調・友愛・思いやりの精神を育み、国際感覚を身につけた人間性を育成する。
- ◎怠学による遅刻・早退・欠席の防止に努め、あいさつや言葉遣い、清潔、整理整頓などの基本的生活習慣の確立に努めさせる。
- ◎生徒一人一人の個性・特質を見極めて、適切な進路指導を行う。
- ◎生命の尊さを自覚させ、併せて危険防止や防災、交通安全の指導を行う。
- ◎施設・設備の愛護に努めさせ、校舎・校地の清掃美化に留意させる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）						
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A	④	3	2	1	学校要覧に明確に示されている。
1	1	2	学生・保護者に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	③	2	1	学生にはオリエンテーション、保護者へは年度初めの出欠通知にて説明している。
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	④	3	2	1	教職員には最新の学校要覧を確認するよう指導している。新任の職員に

										は教務責任者が説明。
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	④	3	2	1		ホームページにて公開している。
1	1	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）							
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（コース修了後に、学習者そのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	A	④	3	2	1		2年時は専攻制とし、より専門的な知識と技術を修得する。業界の経験がある実習担当者が『社会的能力』について認識させている。
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	④	3	2	1		職業実践専門課程の認定校となっており、業界の御意見を参考にして授業内容を決めている。
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	④	3	2	1		1-2-1と同様。

① 課題

- ◎保護者へのより一層の説明。
- ◎特色である専攻制の課題として偏りがある。

② 今後の課題

- ◎毎月の出欠通知や父母の会を活用してご理解を深めていただく。
- ◎各コースの特徴をより深く理解させる。

③ 特機事項

- ◎明確化されている学校要覧をベースにシラバスを制作し実行している。
- ◎製菓衛生師資格の取得の為の特別授業の実施。
- ◎技術習得を目的としたサークル活動。
- ◎洋菓子・和菓子・パンの専用実習室と専任教員がいる。
- ◎外部講師の実習では技術と同時に経営や人材育成など広範囲な内容としている。

2 学校運営				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例	
2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）							
2	1	1	教育方針や教育目的に沿った運営方針が策定されているか	A	④	3	2	1		学校要覧にて明文化されている。
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその浸透度を確認しているか	B	4	③	2	1		年度初めに教務責任者より説明をしている。
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）							
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定共有しているか	A	4	③	2	1		2-1-2と同様。

2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	年度初めに製作して職員に配布。
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	理事会が開催されている。
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	④	3	2	1	ホームページの事業報告にて公開している。
2	3	3	組織機能図があるか	A	④	3	2	1	組織図
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に開催されているか	B	④	3	2	1	週2回の連絡会議と行事前の確認会議を実施。
2	3	5	出退勤管理簿があるか	A	4	③	2	1	出勤簿にて管理しているが退勤については管理簿がない。
2	3	6	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	年度初めに実施している。
2	3	7	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	年間2回の学校点検を行っている。
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	監督官庁の規定を満たした教員を確保している。
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	③	2	1	突然の欠員に対応することは難しいが、事前に分かっている場合は対応している。
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	③	2	1	アンケートを行い、生徒の満足度を知ることによって評価している。製菓衛生師試験の高い合格率は評価されている。
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	④	3	2	1	専門知識を持った人材を教員としている。
2	4	5	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	④	3	2	1	全国製菓衛生師養成施設協会主催の実習教員を対象とした研修を受けさせている。実技講習会への参加。年末などの期間に企業での研修を行っている

2	4	6	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	④	3	2	1	2-4-21 と同様。
2	4	7	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	面接は実施していないが講習・研修の内容をまとめている。
2	4	8	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	④	3	2	1	2-4-21 と同様。
2	4	9	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	B	④	3	2	1	教員のニーズに合った講習・研修を受けさせている。
2	4	10	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	③	2	1	提出いただいたシラバス内容に沿って授業内容をきめている。
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	3	②	1	
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	3	②	1	就業規則
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	3	②	1	就業規則
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	専修学校教員規定
2	6	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか （情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	4	③	2	1	メールの活用とデジタル化を進めている。

① 課題

- ◎高い技術と知識を持った人材の安定した確保は難しい
- ◎賃金はその労力の代償であり重要であるが、完全には整備されていない。
- ◎産休・育児休暇などに対応できる人材の確保はできていない。
- ◎人事制度が明確にされていない。

② 今後の改善方策

- ◎現在の職員のレベルを上げて教員の育成を行う。
- ◎リモート授業の実施などの対応。
- ◎賃金の格差が生じないような適正な評価が必要とされる。
- ◎人事考課など実績や能力に見合った評価が必要とされるため、詳細化を進める。

③ 特記事項

◎全ての教員が講習・研修を受ける事は難しいが、教員のスキルに合った講習や研修に参加できるように業務調整を行う。

3 教育活動				カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	④	3	2	1	職業実践専門課程の認定校として決められた内容を順守している。
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	④		2	1	製菓衛生師法に基づいた内容の授業を実施している。
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	③	2	1	すべての単位を修得した者に対し卒業と専門士の称号を与えている。
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	1年時は製菓衛生師法に基づいたカリキュラムとし、2年時はより実践的なカリキュラムとしている。
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	新年度開始前にシラバスを提出していただき、内容の確認と協議を行っている。
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	④	3	2	1	コマ数に応じた内容としている。
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	4	③	2	1	ホームページにて公開している。
3	2	5	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	4	③	2	1	採点基準の明文化をしている。
3	2	6	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	③	2	1	不定期ではあるが技術習得確認を行っている。
3	2	7	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	4	③	2	1	年度末に1年の評価を無記名で提出させている。
3	2	8	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	③	2	1	学生からの希望や要望がある場合は教員間で協議している。

3	2	9	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか（カリキュラム作成委員会等）	B	4	③	2	1	シラバス提出時に確認と協議を行っている。
3	2	10	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	③	2	1	3-2-41 と同様。
3	2	11	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	④	3	2	1	職場経験を有する職員が実践的な授業を行っている。
3	2	12	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	4	③	2	1	関連分野にて活躍する講師による授業。3-2-41 と同様。
3	2	13	[職業実践専門課程] 専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	認定校として内容を順守している。
3	2	14	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	4	3	②	1	職場実習は行っていないが、経験豊富な外部講師による授業を行っている。
3	3	中項目	成績評価・単位認定等 （成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	ホームページ・学修成果の評価参照。
3	3	2	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	③	2	1	学期ごと出欠通知と一緒に成績評価を郵送している。
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	4	③	2	1	規定に満たない場合は職員会議にて補講についての協議を行う。
3	3	4	[職業実践専門課程] 専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	③	2	1	外部講師の評価の配点を設けている。
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制 （資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	④	3	2	1	製菓衛生師試験対策特別講義を行っている。 3-1-3 と同様。
3	4	2	資格・免許取得のための指導体制はあるか	B	④	3	2	1	製菓衛生師試験対策授業を行っている。令和4年度は合格率100%
3	5	中項目	キャリア教育等 （基礎的・汎用的能力（① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						

3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	3	②	1	キャリア教育の明確な授業は行っていない。
3	5	2	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	③	2	1	高校からの依頼による実習授業を行っている。

① 課題

- ◎1年時は製菓衛生師法に基づいたカリキュラムとなるため幅広い分野の授業は難しい。
- ◎保護者への評価基準の詳細についての説明はしていない。
- ◎キャリア教育の知識を有する教員がいない。

② 今後の改善方策

- ◎2年時はより実践的な授業内容としている。
- ◎再試ラインの説明に加え、評価についての説明を検討する。

特記事項

- ◎製菓衛生師試験の高い合格率を維持している。(過去の合格率の資料)
- ◎学校要覧・教員一覧参照。

4 学修成果・教育成果				カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	③	2	1	技能確認やレベルアップ実習を取り入れている。
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	4	③	2	1	4-1-1と同様。
4	1	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）						
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	4	③	2	1	求人数・就職希望者数・内定率等を数値化している。
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	4	③	2	1	実習担当教員が面接を行い、担任との情報交換をしながら進めている。
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	③	2	1	過去の求人票や面接内容などを資料としている。
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	4	③	2	1	就職実績としてホームページにて一部公開。就職先一覧冊子を作成。

4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか （目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	④	3	2	1	製菓衛生師試験合格率⇒令和2・3年度 98.5%/令和4年度 100%/令和5年度 93.2%(全国平均 60～70%)
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	④	3	2	1	製菓衛生師試験は全員受験全員合格を目標にしている。技術コンクールについては上位入賞を目標にしている。
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	担当教員が効果的な方法で指導している。
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	④	3	2	1	結果の数値化と受賞内容をホームページなどで公表している。
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	④	3	2	1	ホームページにて公表している。
4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	③	2	1	近年起業する卒業生も増えており、パンフレットやホームページで紹介している。転職希望者については新卒希望の求人が多いため難しい状況。

① 課題

◎技術の修得には個人差があり、平均化することは難しい。

◎スキルアップの目的で転職を希望する卒業生もおり、バックアップできる体制が必要かとも考えるが、難しいのが現状。

② 今後の改善方策

◎技術目標を明示し、レベルアップ授業で個人の習熟度に合わせた練習をさせる。

◎新卒者以外の求人希望もあり、タイミングが合うようであれば紹介していく。

③ 特記事項

◎令和5年度全国製菓衛生師養成施設協会主催の技術コンクールにて和菓子部門の総合1位・文部科学大臣賞受賞(2年連続)

5 学生支援			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス例
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）		

5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	④	3	2	1	学生会による学校行事の円滑な運営。父母の会による支援。
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や父母等に周知されているか）	A	④	3	2	1	実習担当教員が学生・家族の希望や実力を考慮して進めている。
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	④	3	2	1	担任・副担任制を取っており、疑問や不安に対応している。特別の場合はカウンセラーに相談
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	4	③	2	1	個別面談や3者面談などを行っている。面談内容などは担任が記録を残している。
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	高等教育の就学支援制度の対象校・各種教育ローンなど経済的支援体制は整備されている。
5	4	2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか）	A	④	3	2	1	年度の初めに校医による内科検診を実施している。
5	4	3	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	サークル活動を支援している。
5	4	4	学生の生活環境への支援は行われているか（学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	④	3	2	1	学園推奨のハイツ・アパートを紹介している。
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）						
5	5	1	退学率の低減が図られているか（受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	4	③	2	1	欠席時間のラインを設け、個別指導をしている。
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	③	2	1	明確な数値目標は設けていないが、欠席状況に応じた

									指導を行っている。
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	③	2	1	過去の退学率や退学理由などを担任が把握し、対応している。
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	④	3	2	1	ホームページにて公表している。
5	6	中項目	保護者との連携（保護者・保証人との連携体制を構築しているか）						
5	6	1	父母等と適切に連携しているか（父母等のニーズを把握しているか）	A	④	3	2	1	毎月出欠状況をお知らせしている。父母の会からの御意見と協力をお願いしている。
5	6	2	父母等との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	③	2	1	希望する父母等とは随時面談を行っている。授業参観などの学校行事の際に希望者との面談を行っている。
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	4	3	②	1	相談があれば対応しているが、ほとんどが新卒求人のため対応は難しい。
5	7	2	卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	4	3	②	1	現在は講習・研修を支援する体制は無いが、検定等の支援をしている。
5	7	3	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	4	3	②	1	社会人学生を対象とした学科や授業は整備していないが、必要性を強く感じることはない。

① 課題

◎卒業後の教育を希望する生徒が少ない。

◎様々なニーズに対応出来る体制が望ましいが、人材の確保や採算性が課題となる。

② 今後の改善方策

◎現状の内容をより充実させて満足感が得られる内容とする。

③ 特記事項

◎卒業生を対象とした親睦会を運営していたが、現在は不定期で話題の商品や新素材などの情報を提供する場として活動している。

◎父母の会を組織化し、父母等との連絡、連携を行っている。

◎父母の会便りを年2回発行と、授業参観・講習会・マナー教室などの行事を開催している。

6	教育環境	カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス例
---	------	------	---------------------------	--------

6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	④	3	2	1	監督省庁の法令に従った施設・設備を整備している。
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	3	②	1	関連書籍は備えられているが、スペースと十分ではない。
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	④	3	2	1	製菓衛生師法に適応した以上の機材・備品を整備している。
6	1	4	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	③	2	1	喫煙禁止としている。
6	1	5	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	④	3	2	1	掃除チェック表で確認している。
6	1	6	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にもしくは適宜行っているか	A	④	3	2	1	年間2回の学校安全点検を行っている。
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	外部講師による実習授業を行っている。
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	④	3	2	1	ビジネスマナーの授業で職業倫理や一般常識を学んでいる。
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	④	3	2	1	〔消防計画〕により組織・役割と活動内容が明確にされている。
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	消防法に基づいて設備されており、定期的な点検が行われている。警備システム有り。
6	3	3	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	③	2	1	火災・避難・放水訓練を実施している。
6	3	4	学校における安全管理の整備を行っているか	A	④	3	2	1	学校安全点検を年2回行っている。

① 課題

◎学生が自由に使用できる十分なスペースを確保した図書室がない。

② 今後の改善方策

◎限られた施設であらたなスペースを確保することは難しく、資料の分散化と選別化を考える。

③特記事項

◎消火訓練では消防隊員の指導の下、消火器の取り扱いや通報・避難訓練を実施している。

◎教職員による放水訓練を実施している。

7 学生の受入れ募集				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障害者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	4	③	2	1	広報部による現状の分析を行い、単年度方針を打ち出している。
7	1	2	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	A	4	③	2	1	会議にて広報部より教務部への報告・連絡がされている。学校パンフレット・ホームページにて公表している。
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	4	③	2	1	学校パンフレット・ホームページにて公表している。
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	4	③	2	1	7-1-1と同様。
7	1	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	④	3	2	1	問い合わせ内容により事務局・広報部教務部で対応している。
7	1	6	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	A	④	3	2	1	広報部が中心となり、教務部と協力して行っている。
7	1	7	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	A	4	③	2	1	専門技術・知識を持っていない前提での教育。
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	④	3	2	1	募集要項に明記されている。
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	④	3	2	1	7-2-1と同様。
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	4	③	2	1	7-2-1と同様。

7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	4	③	2	1	7-2-1と同様。
---	---	---	----------------------------------	---	---	---	---	---	-----------

①課題

◎入学者の確保。

②今後の改善方策

◎メインとなる18歳の人口が減少し続ける中で、市場の分析と魅力的な学習内容を提案する。

③特記事項

◎広報部のみならず、実習担当の職員による授業内容の詳しい説明などをガイダンスや実習体験でより詳しく伝えて理解してもらう。

8 教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1				エビデンス例
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	④	3	2	1	監督官庁の法令等が遵守され、適正な運営が図られている。
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	④	3	2	1	8-1-1と同様。
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	④	3	2	1	8-1-1と同様。
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	③	2	1	8-1-1と同様。
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	③	2	1	文書化されている
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	③	2	1	教務部責任者より教職員に啓発に努める。
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	④	3	2	1	自己点検・評価報告書
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	A	④	3	2	1	8-3-1と同様。
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	④	3	2	1	8-3-1と同様。
8	3	4	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行っているか	B	④	3	2	1	選任された委員により評価・改善している。
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	③	2	1	評価報告書制作にあたり教員への協

										力を要請している。
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	③	2	1		就職ガイダンスなどで必要とされる人材などの把握に努める。
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1		急ぎ改善しなければならない不適切と評価される項目はない。
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1		8-4-3と同様。
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	③	2	1		今後の改善方策として考えている。
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1		改善すべき部分の指摘などの御意見がなかった。
8	5	中項目	教育情報の公開 （教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）							
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	④	3	2	1		ホームページにて情報の公開をしている。
8	5	2	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1		ホームページにて公開している。
8	5	3	学校関係者評価結果を公表しているか	B	④	3	2	1		8-5-21と同様。

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

◎不適切と思われる部分はなく、概ね適切かと思われる。

9 財務				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス例	
9	5	中項目	財務基盤 （学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）							
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	④	3	2	1	ホームページ〔財務状況〕	
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	④	3	2	1	学校法人決算書を基に状況を分析し、計画されている。	
9	2	中項目	予算・収支計画 （予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）							
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなって	A	④	3	2	1	9-1-1と同様。	

			いるか						
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	④	3	2	1	9-1-1 と同様。
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	公認会計士による監査が行われ、理事会・評議員会に報告している。
9	4	中項目	財務情報の公開（私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか）						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	9-1-1 と同様。
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	④	3	2	1	9-1-1 と同様。

① 課題

②今後の改善方策

③特記事項

◎適切に行われていると判断する。

◎公認会計士により〔当年度事務処理状況調査及び財務諸表各項目〕について適正に監査が行われている。

10 社会貢献・地域貢献			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1					エビデンス例
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	③	2	1	関連団体の講習会などへの施設の提供と学園祭の開催。
10	2	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	B	4	③	2	1	《ものづくりマイスター》として地域の学校などで講習を行っている。
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	③	2	1	交通安全週間などの製品提供と配布作業への協力。

①課題

◎関係団体より施設使用依頼があるが、授業を優先する場合、使用できる期間が限られてしまう。

② 今後の改善方策

◎夏休みなどの長期休みに合わせて講習会の提案。

③特記事項

◎秋に開催される《学園祭》は地域のイベントとして認知されており、多くの来場者がある。

◎広報活動以外でも地域の学校などで講習を行っている。

◎技能検定などの公的機関の試験会場としての施設提供。

1 1 国際交流（必要に応じて）				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1					エビデンス例
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学（留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）							
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	A	4	③	2	1	地域的に難しい状況下	
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	A	4	③	2	1	語学力などの条件を満たせば入学を認めている。	
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	A	4	3	②	1	特別な体制は取っていない。	
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	A	4	③	2	1	製菓衛生師などの資格取得。	

①課題

◎生活習慣の違いや日常生活に必要な語学力など難しい部分がある。

◎学習や生活をしっかりとサポートするシステムがない。

◎優秀な留学生は国や業界にとって貴重な人材であるが地域的に留学希望者は少なく、そのための環境を整え、人員を配置することは難しい。

◎期間限定の就労は可能となっているが、受け入れる企業が少ない。

②今後の改善方策

◎留学生にとって魅力的な環境の構築。

◎課題を十分に検討して可能な受け入れ態勢を整える準備をする。

③特記事項